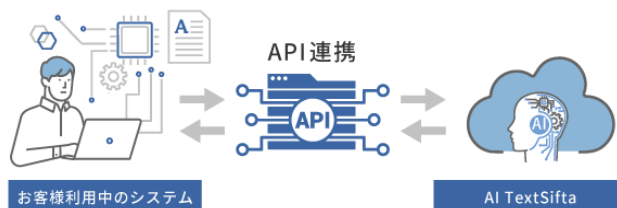


2025年2月12日
さくら情報システム株式会社

生成 AI+AI OCR ソリューション「AI TextSifta」にて API 連携機能の提供開始
～手作業を削減し、DX 推進を後押しします～

さくら情報システム株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：伊延 充正、以下：さくら情報システム)は、生成 AI と AI OCR を組み合わせた非定型文書データ化サービス「AI TextSifta」(エー・アイ・テキストシフタ)の API 連携機能を 2025 年 2 月より提供開始することをお知らせします。

※API 連携とは、API(Application Programming Interface)を活用して、アプリケーションやシステム間でデータや機能を連携させることです



■ サービス提供の背景

さくら情報システムでは、企業が DX を進める上で課題の一つとなる「アナログ情報のデジタル化」を解決するためのサービス「AI TextSifta」を提供しています。当サービスでは業務固有の特殊なレイアウトや非定型の帳票、PDF、写真からもテキストを抽出することが可能です。

従来の AI TextSifta では、利用者は画面上にて手動で帳票データをアップロードし、読取り結果をダウンロードする必要がありました。ただし、利用者からは手動のプロセスを省略し、デジタル化を自動化したいというニーズが寄せられていました。一例としては「会計システムに登録された請求書の画像データを自動的にデータ化したい」という要望が挙げられます。

そうした背景から、利用者の手作業を削減し、外部システムから API 経由で画像や PDF データの受け渡しとテキストデータの取得を可能にする連携機能を提供することにしました。

■ 機能の概要

各企業にて利用中のシステムからの API 連携により、画像や PDF データのテキストデータ化を可能とする機能です。

- (1) 各企業にて利用中のシステムから AI TextSifta へ API 連携にて画像や PDF データを送信
- (2) AI TextSifta にて画像や PDF データから所定の項目を読取りテキストデータ化する

(3) APIにて読取り結果を利用中システムに戻す

従来の AI TextSifta と同様に、請求書や領収書の読取りはもちろん、契約書などの長文から必要な情報を抜き出す場合や、事業会社ごとに異なるレイアウトの料金明細などの帳票でも、API 連携機能を使用することが可能です。

「生成 AI+AI OCR ソリューション AI TextSifta」

サービス詳細：<https://www.sakura-is.co.jp/solution/ps-000-158.html>

■AI TextSifta に関するお問い合わせ

AI TextSifta に関するお問い合わせは、以下のフォームからご連絡ください。

<https://contact.sakura-is.co.jp/1/827503/2020-01-29/9gvb?id=ps-000-158>

■さくら情報システムについて

<会社概要>

商号 : さくら情報システム株式会社(オーグス総研・三井住友銀行のグループ企業)
本社 : 東京都港区白金 1-17-3 NBF プラチナタワー
設立 : 1972 年 11 月 29 日
URL : <https://www.sakura-is.co.jp>
業務内容 : 三井住友銀行およびグループ会社の基幹システムを支え、幅広いお客様にハイレベルなサービスを提供してまいりました。豊かな経験から培ったノウハウ、技術、信頼を基に、会計・人事給与・金融・BPO・セキュリティ・システム運用の強みを軸に、今後もお客様の課題解決をトータルにサポートしていきます。

※ 本リリースに記載されている製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

<報道機関からのお問い合わせ先>

さくら情報システム株式会社 マーケティング戦略部 マーケティング推進グループ

担当：天野・小川

電話：03-6757-7211

E-mail : solution1@sakura-is.co.jp